

フィルム映画の しくみを知ろう！

現在、映画はデジタルで撮影することが主流となりましたが、高倉健の出演作の大半は、35mm のフィルムを用いて撮影していました。35mm フィルムの映画は、デジタルでは出せない独特の味わいがあり、近年見直されています。

ワークショップでは、映写技師さんからフィルムや映写についてのお話を聞いたあと、参加者それぞれが絵を描いたフィルムを100年前の映写機にセットして上映体験をします。

日 時：5月13日（日） 14:00～16:00
講 師：林未来氏（元町映画館支配人）／ 定 員：16名
対 象：中学生以上 ／ 材 料 費：500円（別途入館料が必要です。）

申込方法

往復ハガキまたはメール（takakuraws@otanimuseum.jp）に、氏名・年齢・住所・電話番号を明記してお申し込み下さい。申し込みは1回の応募で2名まで。

4/26（木）必着、応募者多数の場合は抽選。

お問い合わせ

〒662-0952

兵庫県西宮市中浜町 4-28 西宮市大谷記念美術館 TEL:0798-33-0164